

2023年度事業報告書

I. 事業の概況

研究成果公開のため、『英文学研究』3冊を予定通り刊行した。巻号および発行日は、和文号第100巻(2023年12月1日)、支部統合号第16巻(2024年1月20日)、English Number 65(2024年3月1日)。総頁数は、和文号219頁、支部統合号368頁、英文号119頁、合計706頁(前年度700頁)である。

英文学、英語学、英語教育に関する研究を普及する事業として、日本英文学会第95回全国大会が、5月20日(土)、21日(日)の両日、関東学院大学 横浜・関内キャンパス(横浜市)においてハイフレックス形態(対面とZoomによるライブ配信)で開催され、研究発表25、招待発表8、シンポジウム12部門、および特別シンポジウムが行われた。また、この大会における研究発表、シンポジウム、特別シンポジウムの概要を収めた『第95回大会Proceedings』を、2023年7月に日本英文学会ウェブサイト上で刊行した。

全国7支部では、すべての支部大会が対面での開催となった。以下の通りである：北海道支部、藤女子大学[10月29日(日)]、東北支部、東北学院大学五橋キャンパス[12月9日(土)]、関東支部、秋季大会、実践女子大学渋谷キャンパス[10月29日(日)]、中部支部、岐阜市立女子短期大学[10月28日(土)]、関西支部、神戸大学[12月17日(日)]、中国四国支部、島根大学松江キャンパス[10月28日(土)、29日(日)]、九州支部、宮崎大学木花キャンパス(宮崎市)[10月14日(土)、15日(日)]。

加えて、2023年4月22日(土)、日本シェイクスピア協会との共催でシェイクスピア祭を慶應義塾大学日吉キャンパスにて、対面方式(ただし日本英文学会・日本シェイクスピア協会会員にはウェビナー配信も実施)にて開催した。

以上に関する報告および案内のため、本部および各支部事務局はNewsletterを年2回、発行し、上記のとおり1つは独立した冊子として刊行し(2023年9月15日)、もう1つは『第96回大会資料』(2024年3月10日刊行)に掲載した。なお『第95回大会資料』の総頁数は78頁(前年度69頁)である。

II. 処務の概要

1. 役員などに関する事項

2023年度末現在の役員

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
会長	阿部 公彦	2023年5月13日		なし	東京大学教授	
理事	奥 聡	2023年5月13日		なし	北海道大学教授	
同	福士 航	2023年5月13日		なし	東北学院大学教授	
同	阿部 公彦	2023年5月13日		なし	東京大学教授	
同	佐藤 和哉	2023年5月13日		なし	日本女子大学教授	
同	武田 将明	2023年5月13日		なし	東京大学教授	
同	杉野健太郎	2023年5月13日		なし	信州大学教授	
同	里内 克己	2023年5月13日		なし	大阪大学教授	
同	竹村はるみ	2023年5月13日		なし	立命館大学教授	
同	太田 聡	2023年5月13日		なし	山口大学教授	
同	竹内 勝徳	2023年5月13日		なし	鹿児島大学教授	
監事	丸山修	2023年5月13日		なし	静岡大学教授	
同	横内一雄	2023年5月13日		なし	関西学院大学教授	

2023年度末現在の評議員

評議員	松井 美穂	2023年5月13日		なし	札幌市立大学教授	
同	大貫 隆史	2023年5月13日		なし	東北大学教授	
同	諏訪部浩一	2023年5月13日		なし	東京大学准教授	
同	山本 卓	2023年5月13日		なし	金沢大学教授	
同	山田 雄三	2023年5月13日		なし	大阪大学教授	
同	水野 和穂	2023年5月13日		なし	広島修道大学教授	
同	西岡 宣明	2023年5月13日		なし	九州大学教授	

2. 事務局員に関する事項

2023年度末現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	備考
事務局長	田村 斉敏	2023年4月1日	事務一般	給与	
事務局長補佐	猪熊 恵子	2023年4月1日	事務一般	給与	
事務局長補佐	津田 正	2023年4月1日	経理	給与	
大会準備担当書記	酒井 祐輔	2023年4月1日	大会準備	給与	
編集担当書記	馬淵 恵里	2021年4月1日	編集	給与	
オンライン担当	永嶋 友	2021年4月1日	学会 HP 等	給与	

3. 役員等に関する事項

(1) 理事会

開催月日時	議事事項	会議の結果
2023年5月13日 14時00分から15時00分	第1号議案 2022年度事業報告 第2号議案 2022年度編集委員会および大会準備委員会の活動報告 第3号議案 2022年度決算報告 第4号議案 2024年度大会開催校の決定 第5号議案 2025年度大会開催支部の確認 第6号議案 第95回全国大会経費の追加拠出について 第7号議案 ハラスメント防止ガイドラインについて	承認 承認 承認 承認 承認 承認 継続審議
2023年10月9日 20時15分から21時15分	第1号議案 ハラスメント防止ガイドラインについて 第2号議案 インボイス制度対応について 第3号議案 支部支援金計算方式の修正について	継続審議 承認 継続審議
2024年1月29日 19時00分から20時00分まで	第1号議案 ハラスメント防止ガイドラインについて 第2号議案 事務局員の退職とそれに伴う北烏山編集室との契約の変更について 第3号議案 次々回の大会開催に関する進行状況について	継続審議 承認 承認
2024年3月22日 15時00分から16時00分	第1号議案 2024年度事業計画 第2号議案 2024年度収支予算 第3号議案 萩原職員の退職金について 第4号議案 2024年度以降の事務職員体制 第5号議案 原田奈々子氏の時給について 第6号議案 終身会員規定の一部改正 第7号議案 SOAS GLOCALからの連携の申し出に関して 第8号議案 ハラスメント防止ガイドラインについて 第9号議案 次々大会の開催校について 第10号議案 2025年度以降の予算の計算方法（支部支援金の扱い含む）	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 継続審議 継続審議 継続審議

(1) 評議員会

開催月日時	議事事項	会議の結果
2023年5月13日 15時00分から16時00分	第1号議案 2022年度事業報告 第2号議案 2022年度編集委員会および大会準備委員会の活動報告 第3号議案 2022年度決算報告 第4号議案 2024年度大会開催校の決定 第5号議案 2025年度大会開催支部の確認 第6号議案 第95回全国大会経費の追加拠出について 第7号議案 ハラスメント防止ガイドラインについて	承認 承認 承認 承認 承認 承認 継続審議

2023 年度編集委員会活動報告

(1) 委員会開催日

通常委員会（オンライン会議）：2023 年 5 月 13 日、6 月 17 日、10 月 14 日

(2) 人事

- 池田寛子、富樫剛、松本靖彦、横山千晶（イギリス文学分野）、新田啓子、森慎一郎、山内功一郎（アメリカ文学分野）、梶本顕士、三浦あゆみ、山本武史（英語学分野）の 10 氏が、2024 年 3 月末日をもって任期満了となり、編集委員を退任となった。昨年度、近年のアメリカ文学分野の投稿・応募論文数の著しい増加を受けて、同分野の編集委員を 2023 年度に 2 名、2024 年度に 1 名、合計 3 名増員することが承認されたため、11 名の新委員を選出すべく、第 3 回編集委員会にて選挙を行い、就任の依頼を行った。その結果、桐山恵子、合田典世、齊藤美和、関良子（イギリス文学分野）、石割隆喜、古村敏明、佐々木真理、橋本安央（アメリカ文学分野）、齋藤章吾、竹安大、平山直樹（英語学分野）の以上 11 氏の承諾を得た。新委員の任期は、2024 年 4 月 1 日より 3 年間である。
- 川端康雄、木村茂雄、中尾まさみ、中野春夫（イギリス文学分野）、飯野友幸、貴志雅之、巽孝之、若島正（アメリカ文学分野）、奥聡、小倉美知子（英語学分野）の 10 氏が、2024 年 3 月末日で編集委員会顧問の任期満了となった。推薦された後任候補に就任依頼を行った結果、大河内昌、小澤博、新野緑、真野泰（イギリス文学分野）、宇沢美子、外岡尚美、三宅昭良、渡邊克昭（アメリカ文学分野）、大室剛志、島越郎（英語学分野）の以上 10 氏の承諾を得た。新編集委員会顧問の任期は、2024 年 4 月 1 日より 5 年間である。
- 2024 年度 委員長：前川貴史（英語学分野）
副委員長：冬木ひろみ（イギリス文学分野）
石原剛（アメリカ文学分野）
小田博宗（英語学分野）

(3) 『英文学研究』発行状況

第 100 巻 (2023 年 12 月 1 日発行) 219 ページ
英文号 65 (2024) (2024 年 3 月 1 日発行) 119 ページ
総ページ数 338 ページ
(前年度 399 ページ、前々年度 298 ページ)

(4) 2023 年度『英文学研究』論文審査の状況 (2022 年 10 月 15 日～2023 年 10 月 14 日受理分)

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	13(6-7)	3(2*-1)	10(4-6)	0(0-0)
米文学	11(2-9)	3(0-3)	8(2-6)	0(0-0)
英語学	2(0-2)	0(0-0)	2(0-2)	0(0-0)
計	26(8-18)	6(2*-4)	20(6-14)	0(0-0)
和文の割合	30%	33%		

カッコは和文—英文比

*採用された和文論文の 1 編に優秀論文賞が授与された

(参考)

2022 年度『英文学研究』論文審査の状況 (2021 年 10 月 15 日～2022 年 10 月 14 日受理分)

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	11(6-5)	6(1-5)	5(5-0)	0(0-0)
米文学	17(5-12)	3(1-2)	14(4-10)	0(0-0)
英語学	5(0-5)	1(0-1)	4(0-4)	0(0-0)
計	33(11-22)	10(2-8)	23(9-14)	0(0-0)
和文の割合	33%	20%		

カッコは和文—英文比

2021 年度『英文学研究』論文審査の状況 (2020 年 10 月 15 日～2021 年 10 月 14 日受理分)

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	13(6-7)	2(1-1)	11(5-6)	0(0-0)
米文学	20(9-11)	1(0-1)	19(9-10)	0(0-0)
英語学	6(2-4)	2(1-1)	4(1-3)	0(0-0)
計	39(17-22)	5(2-3)	34(15-19)	0(0-0)
和文の割合	44%	40%		

カッコは和文—英文比

2020 年度『英文学研究』論文審査の状況 (2019 年 10 月 15 日～2020 年 10 月 14 日受理分)

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	8(2-6)	0(0-0)	8(2-6)	0(0-0)
米文学	21(9-12)	3(1-2)	18(8-10)	0(0-0)
英語学	1(1-0)	0(0-0)	1(1-0)	0(0-0)
計	30(12-18)	3(1-2)	27(11-16)	0(0-0)
和文の割合	40%	33%		

カッコは和文—英文比

(5) 第 46 回日本英文学会新人賞の審査結果

応募論文総数：英文学 2 編 米文学 2 編 英語学 1 編 計 5 編

(前年度比 2 編減)

第 1 次審査通過論文数：1 編

新人賞小委員会：7 月 8 日

受賞論文：該当論文なし

佳作論文：西田侑記氏

『女王たちの仮面劇』における王妃の身体と王権の神格化

(6) 2023 年度『英文学研究』書評掲載状況

	寄稿書評数	採用	不採用	審査中
英文学	15(13-2)	15(13-2)	0-0	0(0-0)
米文学	11(11-0)	11(11-0)	0-0	0(0-0)

英/米文学	6(6-0)	6(6-0)	0-0	0(0-0)
英語学	4(2-2)	4(2-2)	0-0	0(0-0)
計	36(32-4)	36(32-4)	0-0	0(0-0)
和文執筆の割合	86% (31/36)	86% (31/36)		
和文号書評に占める 英文書評の割合	3% (1/32)	3% (1/32)		

カッコ内は和文号—英文号比

(参考)

2022年度『英文学研究』書評掲載状況

	寄稿書評数	採用	不採用	審査中
英文学	13(6-7)	13(6-7)	0-0	0(0-0)
米文学	12(10-2)	12(10-2)	0-0	0(0-0)
英/米文学	4(4-0)	4(4-0)	0-0	0(0-0)
英語学	7(4-3)	5(2-3)	2-0	0(0-0)
計	36(24-12)	34(22-12)	2-0	0(0-0)
和文執筆の割合	60% (21/35)	59% (20/34)		
和文号書評に占める 英文書評の割合	9% (2/22)	9% (2/22)		

カッコ内は和文号—英文号比

以上

2024年5月18日

2023年度大会準備委員会 活動報告書

1. 2024年4月14日（日）から4月21日（日） 後任選挙オンライン投票期間 2024年4月22日（金） 開票作業ならびに結果報告

任期満了委員の後任選挙結果

英文学分野（松本 朗委員の後任）	下楠 昌哉氏（同志社大学）
英文学分野（田代 尚路委員の後任）	木谷 巖氏（帝京大学）
英文学分野（菅野 素子委員の後任）	河原 真也氏（西南学院大学）
米文学分野（上野 葉子委員の後任）	高橋 綾子氏（兵庫県立大学）
英語学分野（久米 祐介委員の後任）	松元 洋介氏（中京大学）
英語教育分野（那須 雅子委員の後任）	原口 治氏（福井工業高等専門学校）

2. 2023年6月25日（土） 第96回大会第1回準備委員会

[Zoomを使ったオンライン会議]

- 01) 第95回大会の総括
- 02) アンケート結果の共有について
- 03) 欠番
- 04) 新任大会準備委員紹介
- 05) 副委員長選出
- 06) 大会準備委員後任選挙のオンライン投票について
- 07) 分野外講師謝金に関する確認
- 08) シンポジウム企画の検討
- 09) 招待発表について
- 10) 特別講演／特別シンポジウムについて
- 11) ワークショップについて
- 12) 発表応募数増加のための施策案
- 13) 大会研究発表応募規定の改定について
- 14) 第2回大会準備委員会の開催日時について
- 15) 第96回大会の開催形態について
- 16) その他

3. 2023年9月15日（金）から9月27日（水） 第96回大会仮想大会準備委員会

- 01) 第1回大会準備委員会議事録（案）の確定
- 02) シンポジウム企画および日程決定
- 03) 研究発表応募査読者決定の日付決定
- 04) 招待発表講師の決定
- 05) 第96回大会登壇者への依頼状の確認

4. 2023年12月2日（土） 第96回大会第2回準備委員会

[Zoomを使ったオンライン会議]

- 01) 仮想大会準備委員会にて決定したシンポジウムと招待発表の確認
- 02) 第96回全国大会研究発表査読結果の審議
- 03) 研究発表・シンポジウム各室担当者の決定
- 04) 研究発表者の組み合わせと司会者案の検討
- 05) ワークショップ審査ガイドラインの検討

過去5年間の研究発表応募採択状況

(複数人による共同発表者は1名と計算。カッコ内の数字は招待発表を合わせたもの。81回大会分以降は、カリブ海文学、カナダ文学、アイルランド・日本の比較文学についての研究発表の応募を広域英語圏文学として分類した。)

採択数 / 応募数

	96回大会 東北大学	95回大会 関東学院大学 COVID-19の影響により 対面とオンラインのハイフ レックス大会として開催	94回大会 当初は同志社大学で開催予 定だったがCOVID-19の影 響によりオンライン大会に 変更	93回大会 当初は早稲田大学で開催予 定だったがCOVID-19の影 響によりオンライン大会に 変更	92回大会 当初は琉球大学で開催予 定だったがCOVID-19の影 響により ウェブカンファレンス大 会に変更
英文学 [古英語・ 中世は内数]	25(30)/27(32) [古英語 0(0)/0(0)] [中世 3(4)/3(4)]	12(17)/14 (19) [古英語 0(0)/0(0)] [中世 0(1)/0(1)]	15(20)/18(23) [古英語 2(2)/2(2)] [中世 1(2)/1(2)]	12(17)/14(19) [古英語 1(1)/1(1)] [中世 1(2)/1(2)]	17(22)/21(26) [中世 0(1)/0(1)]
米文学	7(8)/7(8)	7(8)/7(8)	5(6)/5(6)	5(6)/5(6)	5(6)/5(6)
広域英語圏文 学	1/1	0/0	0/0	0/0	1/2
英語学	5(6)/6(7)	6(7)/6(7)	8(9)/8(9)	4(5)/4(5)	6(7)/8(9)
英語教育学	3(4)/3(4)	0(1)/0(1)	1(2)/1(2)	0(1)/1(2)	3(4)/3(4)
計	41(49)/44(52)	25(33)/27(35)	29(37)/32(40)	21(29)/24(32)	32(40)/39(47)

大会準備委員 (五十音順)

上野 葉子	内丸 公平	大久保 譲	大野 美砂
小笠原 亜衣	川崎 和基	北 和丈	久米 祐介
小宮 真樹子	志渡岡 理恵	菅野 素子	田代 尚路
戸塚 将	那須 雅子	福元 広二	松本 朗
森下 裕三			

開催校委員 (五十音順)

大河内 昌	大貫 隆史	島 越郎	ティンク、ジェイムズ
中村 太一			

支部委員 (東北支部・五十音順)

相田 明子 (仙台青葉学院短期大学)	石橋 敬太郎 (東北学院大学)
泉 順子 (東北学院大学)	井出 達郎 (東北学院大学)
金井 典子 (宮城大学)	三枝 和彦 (山形大学)
佐藤 恵 (東北福祉大学)	竹森 徹士 (宮城教育大学)
福士 航 (委員長・東北学院大学)	

以上